

校友会報

中央学院校友会本部

〒136-0071 江東区亀戸 7-65-12

中央学院大学中央高等学校

TEL (5836) 7 0 2 0

毎年1回発行

誠實に謙虚に生きよ
涙に人へ接し
奉仕と感謝の心を養え
常身を慎み反省を
研鑽を怠るな

創業者 博士 高橋順太郎先生 提言
建学の精神
中央学院大学
中央高等学校

校友会長のあいさつ



校友会会長

佐藤 昌信

ロシアのウクライナ侵攻ならぬ侵略が始まって以来、早1年が過ぎようとしています。この間に、子どもたちや一般市民を含め、大勢の人間の命がウクライナの地で失われています。さらに悲惨な事には、世界中にエネルギーや食糧問題などが発生するなど、世界情勢は混とんとしています。ロシアのような超大国が、このような暴挙に出るは誰も止めることができないのでしょうか。本来なれば国連安保理が世界平和のために仲裁に入るべきところですが、今のところむなししい時間ばかり過ぎていきます。

ところで、日本における新型コロナウイルスの感染拡大は、いよいよ第8波にまで及んでいます。収束の見えない状況が続いています。しかしながら、過去3年間のコロナ対策の実績やワクチンの接種対応の促進から、感染拡大に歯止めがかかった感があります。経済対策に重点を置いた緩和措置が講じられる事で、私達の日常生活がかなり楽になりました。最近では、総理大臣が自ら提唱したマスク着用や各種行動制限措置の緩和措置を矢継ぎ早に発表しています。

具体的には、コロナ感染基準をインフルエンザと同様の5類相当への移行、全国旅行支援の実施等、染対策としての取り扱いにも、いわゆる規制緩和の話が持ち上がっています。さらに、来月から始まる卒業式や入学式にはマスク無しになりそうです。振り返ってみると、今年の卒業生は入学時から3年もの間、入学式や卒業式などの学校行事や部活動までもコロナとマスクに悩まされて過ごしたことになります。また、オンライン授業や対面授業など慣れない対応に先生も含めて苦労したことと思います。人生100年と言われる中、それに比べると、短い期間の中ですが、苦境を乗り越えるという意味合いで、貴重な思い出として記憶していただきたいと思っています。

本校が明治33年、1900年、東京の地に日本橋簡易商業夜学校として開校して以来120年を超える長い歴史をたどっています。創設者・高橋順次郎博士が誠実な生き方と奉仕の大切さ示した「**建学の精神**」は明治から令和の今日に至るまで、学校運営に反映されてきました。目標の见えない時こそ、私学における建学の精神の存在は何事にも強い味方になります。

本校・校友会においては、創立120周年の記念行事をはじめとする周年式典は、体育館と各教室でのオンラインにより無事に執り行われました。

校友会としての業務は、学校・PTA・永代会の四者の協力の中で、スムーズな議論が進み、記念誌の作成や記念品の決定並びに120年史編纂が完成しました。特に、記念誌の資料作成には、学校側の多大な協力によりスムーズに完成することができました。この紙面を借りて感謝申し上げます。通常業務として、決算報告や予算案等の重要な案件は、臨時の役員会議を開催し、みなし総会として協議・検討・監査を通じて決定を行う暫定的な措置となっています。結果の公表は校友会報に記載して事後承認の形をとっています。ご意見のある方は、校友会までお知らせください。式典とは別に、懇親会の実施が未開設になっております。実施する時間が伸びて、このままでは開催が益々難しくなりつつありますが、程よき機会をとらえて、かたちは変えても盛大に実行したいと考えております。120周年記念品としては、玄関の正面に垂直幕施設（顕彰枠）を設置して寄贈しました。

また、学校法人が創立125年記念式典を行うよう準備が進んでおります。皆様のご協力をお願いがあると思います。是非とも絶大なご支援をお願い致します。

最後に中央高等学校の皆様の一層のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げて、ご挨拶とさせていただきます。

令和4年度
定時評議員会
及び懇親会の中止

令和4年度の定時評議員会及び懇親会は新型コロナウイルス感染症の影響による政府の緊急事態宣言により中止いたしました。
令和3年度の会務報告・収支決算書・監査報告 令和4年度の事業計画・収支予算書をのせます。

令和3年度
会務報告

令和3年
入学式について、新型コロナウイルス感染症対策により
4月2日（金） 中央学院大学は式典を午前・午後の2回に分け挙行
4月8日（木） 中央学院高午前・午後に分け挙行
4月9日（金） 中央高校は午前普通科・午後商業科に分け挙行
理事会・定期評議員・懇親会等中止

12月8日 ミニ納会（浦安）
（幹部5人により行う）

令和4年
四者合同新年会 中止

3月5日（土） 中央高校卒業式
3月12日（土） 中央学院高卒業式
3月20日（日） 中央学院大学 学位記授与式
卒業式等は人数制限・時間短縮などにより縮小して挙行された。

決算は、梅津会計理事より、秋山・石田監事に証拠説明書・決算案等郵送により監査して頂きました。
10月12日（水） 中央高において佐藤会長外数名の幹部により監査受けた決算書を審議承認

予算は、梅津会計理事により、同日説明があり、大橋校長より要望があり、翌期に繰り延べ処理すること、予算審議も承認されました。
人事は、前年の通りとした。

令和4年度
校友会役員名簿

役職	任期氏名	専務理事	会計理事	常任理事	理事	監事	相談役	名誉会長
会長	55 佐藤 昌信	66 中島 伸一	65 梅津 修	62 樋口 やい子	65 金子 由信	96 柳 辰徳	42 村尾 幸夫	55 寺嶋 昭雄
副会長	59 谷本 弘郎	60 白石 勝弘	62 平川 憲一	73 中野 淳一	78 高島 有美子	81 青木 廣則	50 山崎 正明	
						84 藤掛 晃浩	61 石田 高幸	
						88 設楽 治樹	51 吉野 賢治	
						90 秋山 正夫	51 佐藤 義則	
						96 秋山 正夫	55 寺嶋 昭雄	

※石田監事は昨年十月に逝去いたしました。

令和4年度
事業計画

- 一、評議員の活性化をはかる
- 二、会費の増収につとめる
- 三、会報の年一回制作を実行する
- 四、在校生、学校との連絡を強化する
- 五、中央学院学友会校友会連合協議会と連絡を密にする
- 六、委員会活動を活性化させる
- 七、ホームページの充実をはかる
- 八、120周年記念の祝賀会
- 九、125周年記念の寄付

令和4年度
事業計画の補足

125周年記念の寄付は
学校法人中央学院創立125周年記念事業寄付金です。過去において法人創立100周年記念時同様に3年間に渡り、各100万円を法人へ寄付を致したく評議員の予算審議を経ないでの支出ですが、理事長よりの要請もあり、会長はじめ幹部の十分な審議を重ねた結果です。

令和3年度 収 支 決 算 書

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月31日

(単位:円)

収 入 の 部	決算	予算	差異	支 出 の 部	決算	予算	差異
会 費 収 入	3,630,000	3,630,000	0	評 議 員 会 費	0	300,000	△300,000
				会 報 等 印 刷 通 信 費	151,528	450,000	△298,472
寄 付 金 収 入	0	10,000	△10,000	同 期 会 補 助	0	30,000	△30,000
				同 好 会 補 助	0	30,000	△30,000
				事 務 費	60,000	60,000	0
雑 収 入	46	20	26	慶 弔 費	200,000	100,000	100,000
				ス ポ ー ツ 奨 励 金	40,000	60,000	△20,000
				中央学院連合協議会々費	0	10,000	△10,000
				委 員 会 活 動 費	0	100,000	△100,000
				新 入 生 卒 業 生 記 念 品	575,025	400,000	175,025
				学 校 設 備 補 助 金	0	100,000	△100,000
				学 校 一 般 寄 付 金	0	100,000	△100,000
				雑 費	48,753	50,000	△1,247
				予 備 費		100,000	△100,000
				周 年 事 業 費	990,000	2,540,000	△1,550,000
経常収入計	3,630,046	3,640,020	△9,974	経常支出計	2,065,306	4,430,000	△2,364,694
基 本 財 産 運 用 収 入	48,608	48,000	608	基 本 財 産 組 入 支 出	0	0	0
前 年 度 繰 越 金	7,827,149	7,827,149	0	次 年 度 繰 越 金	9,440,497	7,085,169	2,355,328
計	11,505,803	11,515,169	△9,366	計	11,505,803	11,515,169	△9,366

会費収入につきましては、平成28年度新入生から入会金10,000円、卒業時に会費として10,000円を徴収することになりました。
会費収入につきましては今年度入学者217名+卒業生143名の会費収入がございました。

令和3年度
監 査 報 告

30 54
日 期
付 秋
け 山
で 正
令 夫
和 ・
3 61
年 期
度 石
の 田
収 高
支 幸
決 両
算 監
書 事
が 更
適 正
正 である
の 報告
を 了
す
ま
し
た。

令和4年度 収 支 予 算 書

自 令和4年 4月 1日

至 令和5年 3月31日

(単位:円)

収 入 の 部	予算	前年度予算	差異	支 出 の 部	予算	前年度予算	差異
前 年 度 繰 越 金	9,440,499	7,827,149	1,613,350	評 議 員 会 費	300,000	300,000	0
				会 報 等 印 刷 通 信 費	450,000	450,000	0
会 費 収 入	3,570,000	3,630,000	△60,000	同 期 会 補 助	30,000	30,000	0
				同 好 会 補 助	30,000	30,000	0
寄 付 金 収 入	10,000	10,000	0	事 務 費	60,000	60,000	0
				慶 弔 費	100,000	100,000	0
雑 収 入	20	20	0	ス ポ ー ツ 奨 励 金	60,000	60,000	0
				委 員 会 活 動 費	100,000	100,000	0
				中央学院連合協議会々費	10,000	10,000	0
				新 入 生 ・ 卒 業 生 記 念 品	400,000	400,000	0
				学 校 設 備 補 助 金	100,000	100,000	0
				学 校 一 般 寄 付 金	100,000	100,000	0
基 本 財 産 運 用 収 入	48,000	48,000	0	雑 費	50,000	50,000	0
				1 2 5 周 年 事 業 費	1,000,000	0	1,000,000
				1 2 0 周 年 事 業 費	1,550,000	2,540,000	△990,000
				予 備 費	100,000	100,000	0
				次 年 度 繰 越 金	8,628,519	7,085,169	1,543,350
計	13,068,519	11,515,169	1,553,350	計	13,068,519	11,515,169	1,553,350

※同期会補助—同期会(クラス会でないもの)の年間補助1回10,000円。

※同好会補助—年間補助1回20,000円。

※スポーツ奨励金—中央高校のスポーツ充実・発展を図る為生徒・運動部に対して奨励金を支給する。

※周年事業費—コロナ過により祝賀会の開催が延期になり予算を繰越計上している。

※令和4年度新入生—163名(入学時に入会金10,000円)

※令和4年度3年生—194名(卒業時會費10,000円)



学校法人中央学院 創立125周年を迎えるにあたって

学校法人中央学院は、来る2025年(令和7年)に創立125周年を迎えます。本学院のルーツは、1900年(明治33年)に日本橋蛸殻町に設立された日本橋簡易商業夜学校までさかのぼります。全国に600余校を数える私立大学の中で、120年を超える歴史を有する大学は数少ないものと思われます。

創立者の高楠順次郎博士は英国等欧州に留学経験のある仏教学の権威であり、教育理念は、日本人としての仏教倫理と西欧の近代思想の融合、すなわち、「中庸」にありました。

日本橋簡易商業夜学校は、1902年(明治35年)に甲種実業学校に昇格して中央商業学校となり、京橋区霊岸島の三層楼の近代的な建物に移転しました。校名に冠した「中央」は、社会の中心・中央を志向する高楠博士の強い意識の表れと伝えられています。以来、同校は日本の中央に位置するという名称にふさわしく、首都東京の私立商業学校の雄として、幾多の優れた商業人の育成に貢献してきました。

本学院は戦後、中央商業学校の後身である中央学院大学中央高等学校のほか、中央学院大学、中央商科短期大学(2001年廃止)、中央学院高等学校を開学し、総合学園として発展してまいりました。創立時の「中庸」の精神は、現在、中央学院大学の「公正な社会観と倫理観の涵養」という建学の精神に受け継がれております。

創立125周年を迎えるにあたり、次なる150周年を見据えて、IT・DXの時代にふさわしい教育を実現するために、記念事業としてハード・ソフト両面における新たな施設設備等の充実に取り組むことといたしました。

さらなる本学院の発展のために、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学校法人中央学院
第11代 理事長
椎名 市郎



令和4(2022)年10月吉日

中央学院校友会
会長 佐藤 昌信 殿

学校法人中央学院

理事長 
(椎名 市郎)

学校法人中央学院 法人創立125周年記念事業へのご寄付のお願い

虫の音にも深まる秋を感じる時候となりました。貴校友会におかれましては、ますますのご盛降お慶び申し上げます。

平素より、学校法人中央学院、中央学院大学中央高等学校の教育研究活動支援に対してご理解賜り有難うございます。

さて、明治33(1900)年10月1日 日本橋簡易商業夜学校を学校起源とする学校法人中央学院は、令和7(2025)年に法人創立125周年を迎えます。

法人創立125周年記念事業遂行を企画し、それぞれの部会において計画の実現可能性の検討を行っております。併せて事業計画を遂行するための原資として、法人創立125周年記念事業寄付金の募集活動を行っております。

貴校友会におかれましては、過去、法人創立100周年や施設拡充等におきましても多大なるご協力を賜りました。

誠に恐縮ではございますが、法人創立125周年記念事業寄付金に対しましても、格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

【担当事務取扱】

学校法人中央学院 法人事務室

電話 04-7183-6565

事務室長 三輪 博文 (内)301

職員 松本 貴司 (内)769

職員 前田 亮子 (内)768

職員 菅原 由記 (内)746



中央高行事【令和4】

今年度もコロナウイルス感染症の影響により、様々な制約があり、限られた選択肢の中で行われました。

体育祭 9月28日（江戸川区）

中央祭 10月9日

球技大会6月22日



中央祭



校友会の皆様には、日頃よりご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。ます。

新型コロナウイルス感染症の影響により社会が大きく変化し、これからの社会では自主性や社会性などの「生きる力」を高めることが大切であると感じています。そのためには、まず生徒一人ひとりの「興味・関心・能力」を見極め、自らの可能性を引き出す努力をサポートし、実践活動を通じた自主性や自治的な問題解決の能力を育てることが極めて重要であると考えております。

本校はいち早く、電子黒板の設置、タブレット端末の導入など、ICT環境を整えてまいりました。授業にタブレ



中央学院大学
中央高等学校
校長 大橋 治久

「生きる力を育む教育を
目指した取組」

中央学院大学 中央高等学校



ットを効果的に使用し、学習意欲の向上、生徒同士が教え合う協働性・情報活用など、これからの社会に必要な思考力・判断力・表現力の育成に努めています。

また、昨年の夏には法人のご協力もあり、新しいパソコンを情報処理室に100台以上導入することができました。商業科の生徒たちは情報処理やビジネス文書の検定資格取得を目指し、熱意がみなぎっております。

さて、本校では教育環境を整え、教師と生徒同士が積極的にコミュニケーションを取りながら進めるアクティブラーニング型授業や、自分を取り組んだ課題の記録や習熟レベルをデータで確認しながらの自学自習、教師と生徒、生徒同士のコミュニケーションを取りやすくするチャットツールの利用など、時代に合わせた新しい教育にチャレンジしています。

世界的に拡大し、まだ終息の見えない新型コロナウイルス感染症。Withコロナ時代のニュースタンダードをとりいれた様々な改革は、教育の場にも広がっています。

本校では、臨時休業を余儀なくされた期間、「学びを止めるな」を合言葉に、コミュニケーションなどが低下しないよう、Zoom によるホームルームの開催、オンライン授業を実施してきました。とにかく、コミュニケーション方法を模索し様々な取り組みをして参りました。現在では本来の姿を取り戻してきています。新型コロナウイルスの

早期収束を願うばかりです。

商業科は、実社会で活かせる商業科目を中心としたカリキュラムで、学力とビジネスに必要な技術の両方を身につけさせています。1年次のビジネス基礎ではインターシップで就業体験を行い、3年次までにそれぞれのペー

スに合わせ、情報処理や簿記実務などの各種資格取得を目指しており、将来の就業を具体的にイメージしやすい指導内容を心がけています。

普通科は、それぞれの学力レベルに合わせた習熟度別授業や夏期講座などで確かな基礎学力を身につけていきます。放課後には「漢字検定」「英語検定」の特別講習を実施して、教員と生徒の距離が近い小規模校ならではの特性を活かした個性に寄り添う丁寧な指導を行っています。



今年度から新指導要領となり、1年

生普通科は「総合的な探求の時間」を本格的に取り組むことになり、研究授業をおこないました。現在までの取り組みでいかなる成長があったか、「主体的・対話的で深い学び」「生きる力を育む教育」を目的として、実在する企業へのインターンを教室で体験し、働くことの意義や経済活動について学びました。企業から出される課題（ミッション）に取り組み、生徒たちのグループ作業や限られた時間内で発表・質疑応答の探究活動を実施しました。教員からの指示だけでなく、仲間と協同的に作業することで傾聴力を更に高め、様々な意見や考えに對し倫理的に整理して、働くことについての理解を深めました。

これからも「生きる力を育む」様々な教育活動に取り組んでまいります。

「研修旅行」

1年B組 辰野 茉奈実

【普通科】

令和四年度の二泊三日の研修旅行を振り返ると最初はとても不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、初日の自己紹介から始まり担任の先生やクラスメイトのことを知ることができ、これからもっとみんなで仲良くなりたいたと強く感じました。二日目の飯盒炊爨では、とても強い風が吹き春なのに寒さで凍えました。とてもカレー作り日和とはいえる状況ではありませんでした。そのような状況でも私たちの班で

は自然と「包丁使える人？」などコミュニケーションをとりながら役割分担が自然とできていました。このように初対面に近い中、協力し合えることに感動しました。お米を炊いている間みんなで火を囲んで暖をとったのも私としては大切な思い出です。完成したカレーは暖かく、みんなで作ったからこそ、美味しく感じました。

みんなが自主的に考える班だったので片付けも全員が率先して動くことができ、チームとしてまとまれたように感じます。三日目はこれからの学校生活についてのお話がありました。また、礼の練習もしました。回数を重ねるごとに全員がそろって礼ができるようになったことが素晴らしいと感じました。



この三日間で担任の先生から様々なお話を聞きました。これからの目標・進路のこと、学校生活では何が大切かなど。この先生の元で新しくできた友人とクラスメイトと、もっと関りを深く持ちたいと思っています。この研修

旅行のおかげでこれからの学校生活が楽しみになりました。三日間本当にありがとうございました。

「研修旅行を振り返って」

1年D組 葉多埜 里和

【商業科】

私はこの研修旅行を通して人と協力して取り組む大切さや感謝の気持ちを相手にしっかりと伝えることの良さ、さらに中央学院大学中央高等学校の建学の精神や校歌などたくさんのことを学びました。

今回の研修旅行で特に印象に残っているのは皆で団結して物事を進めることの大切さです。

私たちが実施した飯盒炊爨とカレー作りは、皆で力を合わせる必要があります。火おこしや食材の下ごしらえなど役割を分担して、それぞれの仕事を協力して行いました。初めて経験することもあり、大変でしたが、苦勞の甲斐あって、とてもおいしいカレーを作ることができました。

ほんの一例ですが、このように私は研修旅行を通して団結して物事を進めることの大切さを学ぶことができました。

今回学んだことを忘れずにこれからの学校生活で大いに生かしていきたいと思っています。クラスメイトと協力して楽しく明るく、でも「しっかりとやる」ときはやる」というようにメリハリをつ

けて行動できるクラスになるように導いていきたいなと思っています。



1年研修旅行 令和4月13日～15日



成田ゆめ牧場でカレー

「全商簿記実務検定」

情報処理検定の二種目 一級の合格

三年D組 河村 勝真

私は、六月に行われた簿記検定と九月に行われた全商情報処理検定一級に合格し、簿記検定と合わせて二種目の一級に合格することができました。

私は、希望の大学に合格するために、検定試験の取得を頑張ってきました。

また私自身、検定試験そのものに魅力を感じていました。中央高校の商業科では、簿記、情報処理、ビジネス文書の三つの検定試験を受験することができます。私は入学前からこの三つの検定試験が将来に役に立つと考えていました。そして三つの検定試験は初めて勉強をすることなので、とてもワクワクしていました。中学生の時は、勉強が苦手で、授業についていくことに苦労をしていましたが、商業科に入学し新たなスタートを切ることを意識しました。簿記は、新しく学ぶ科目の一つで、会社の経理に必要な知識を先生方が、丁寧に説明してくれました。情報処理とビジネス文書は主にパソコンを使った授業で、表計算ソフトや文書ソフトなど幅広く学ぶことができました。初めての検定試験でもあり、とても緊張しましたが、先生方が放課後に補習を行ってくれ、重要な問題を繰り返し説明してくれました。そのおかげで、一級まで合格することができました。また進路においても第一志望とす

る専修大学商学部合格することができました。

一級に合格するために、日々努力することが、小さな関門を乗り越える積み重ねとなり、大学受験へ向けた努力の仕方を身につけることができ、大学合格という大きな関門を乗り越えることができたのではないかと思います。



「生徒会活動」

生徒会長

二年A組 横松 晃輝

校友会の皆さま、こんにちは。このたび、生徒会長に就任しました横松晃輝です。よろしくお願いいたします。

私は目安箱やアンケートを実施し、生徒の意見を多く取り入れ、生徒全員がより良い学校生活を送れるための環境作りをしていきたいと思っています。

私たちはここ数年、新型コロナウイルスの流行により制限された学校生活

を送ってきましたが、これからは各種行事に積極的に取り組み、クラブ活動にもより多くの生徒が参加し、学校全体を活性化できるように、生徒会と生徒が協力して一つ一つできることを頑張っていきたいと思います。

最後になりますが、これからはコロナ禍以前の学校生活を送ることができるようになるため、新たな試みを実践できるチャンスの時でもあると思います。失敗を恐れずに新しいことに挑戦し、中央高校をみんなの笑顔があふれる、さらに素晴らしい学校に近づけていきたいと思っています。



中央学院高校

「中央学院高校の近況」

校長 横田 一弘

令和4年度は新入生287名を迎え、総数918名でスタートしました。教職員は生徒と共に本校の特色を最大限に活かす学校作りに日々努力を重ねています。

昨年度、一昨年度と新型コロナウイルス感染症予防対策を優先に様々な学校行事等を延期や縮小、中止にしましたが、令和4年度は予定していた学校行事を予定通りに実施してきました。3年振りとなる学院祭の開催や修学旅行の実施、校外での活動（ボランティアやイベントへの参加）などを通して生徒達もよい経験をしたのではないでしようか。今後も生徒達には勉強や部活動以外の様々な事に積極的にチャレンジしてほしいと思っています。

令和3年度の進路状況は、中央学院大学への進学者数62名を含め4年制大学への進学者数は265名、短期大学への進学者数は11名となり大学短大への進学率は79.8%を達成しました。生徒達は明確な目的意識をより確かなものにしていくために学習や部活動に真剣に取り組んでいます。



体育祭



学院祭

校技大会（剣道）



校技大会（弓道）



中央学院大学の近況

中央学院大学

- 最後に令和4年度の主な部活動の結果を報告します。
- ・男子バドミントン部 第75回全国高等学校総合体育大会バドミントン競技大会（徳島県）
男子シングルス
3年 林 顕吾
 - ・弓道部 第75回全国高等学校総合体育大会弓道競技大会（徳島県）
3年 清宮 小桃
 - ・書道部 第46回全国高等学校総合文化祭東京大会（東京都）
3年 高橋 凜美
特別賞受賞
 - ・全国高等学校書道パフォーマンス選手権（愛媛県四国中央市）
関東予選1位通過での「書道パフォーマンス甲子園」出場
 - ・学外活動
第77回国民体育大会体操競技（栃木県）
2年 永田 美尋
団体5位
 - その他関東大会出場部活動
バドミントン部、陸上競技部、剣道部、バレーボール部

◆大村芳昭新学長が就任

平成30年7月から4年間学長を務めた市川仁学長に代わり、令和4年7月1日付で新たに大村芳昭法学部教授が学長就任いたしました。

大村学長は、専門は国際家族法で平成8年に中央学院大学法学部専任講師となり、平成24年4月から30年3月までは法学部長を務めております。

「『学生に寄り添い学生を伸ばす大学』を目指して、自分にできることを精一杯やっつけていきたいと思います」と決意を語っております。



【プロフィール】

大村 芳昭（おおむら よしあき）

OHMURA Yoshitaki

1963（昭和38）年生まれ（58歳）

東京都小金井市出身

修士（法学）

専門分野：国際家族法

所属学会：ジェンダー法学会、国際人権法学会、日本リメディアル教育学会

現在の研究テーマ：国際家族法における個人の尊重

◆副学長に川久保文紀教授が就任

中央学院大学では様々な課題に対応するため新たに副学長を置くこととし、令和4年10月1日付けで川久保文紀法学部教授が副学長に就任いたしました。

川久保副学長は、大村学長から主に「自己点検・評価及び中長期計画に関する事項」及び「地域連携に関する事項」について委任されております。

◆新型コロナウイルス感染症へ対応

令和2年2月18日に学長を本部長として立ち上げた「新型コロナウイルス感染症危機対策本部」を中心として、学生及び教職員等の関係者の健康、安心安全を最優先に、また、感染症拡大を防止するという社会的な責任を果たすことを基本として、今年度も引き続き様々な取り組みを進めてきました。

具体的には、本学独自の「中央学院大学における新型コロナウイルス感染症対応指針」を定め、感染者数や国の政策等諸状況から判断した本学の警戒レベルを示し、その都度レベルに合わせた対応を行ってきました。

レベルは、年度開始当初は「2（注意喚起）」としてスタートし、感染症対策のため保護者の参列はご遠慮いただきましたが、学位記授与式（卒業式）を3月20日の午前・午後に分けて、また入学式を4月4日・5日の2日に分けて、それぞれ開催いたしました。

4月からの授業は原則として対面を実施することとし、オンライン授業の時には閑散としていたキャンパスも、感染症発生以前の賑わいを取り戻していました。感染状況がやや落ち着いていた6月13日にはレベルを「1（一部制限）」に引き下げましたが、夏季休業前や年末年始など感染者が急増し、7月19日には「2」に引き上げることとなりました。ただ、幸い重症になる者もなく、大きな混乱は生じませんでした。

また、5月に予定されていた体育祭は準備期間が足りず残念ながら中止することとなりましたが、感染が落ち着いたき、10月17日レベルを「1」に引き下げた後に予定されていた「あびこ祭（大学祭）」は、感染対策で来場者を制限し、学生・教職員のみを参加者とする限定したものではありませんが、10月29日・30日に3年ぶりに開催することができました。

当日は天候にも恵まれ、818名の学生・教職員が来場し、演奏やダンス・お笑い等のステージ企画や卒業生でのお天気キャスターの松並健治氏の講演等のアカデミック企画等様々な企画を楽しんでいただき、盛況のうちに幕を閉じました。

さらに12月20日には学生自治会主催のクリスマスパーティーが感染防止対策をとりながら開催されるなど、授業以外の行事でも徐々にもとに戻りつつあります。

全体的に、新型コロナウイルス感染症の陽性者は一定数発生したものの、「ウィズコロナ」を意識し、状況に応じた様々な対策をとりつつ感染症以前の環境に戻そうと取り組んだ1年でした。

◆教育・研究関連のトピックス

1. 特別授業・特別講義

近年、現代教養学部を中心に、学外の有識者に講義をお願いする「特別授業（講義）」を実施しております。今年度も地元我孫子市副市長、香取市長や茨城町長等自治体関係者やエコノミストの浜矩子氏、JICA（国際協力機構）のコンサルタント、国際ジャーナリスト等多様な講師をお迎えし、講義をしていただきました（オンライン含む）。

中でも、「ウクライナ問題と国際情勢」と題して西田恒夫元国連大使により行われた特別講義は、我孫子市職員からも聴講生として参加される方がいるなど注目を集めました。西田氏からは、まず自身の外務省入省後の留学経験、東西冷戦時代のドイツ、ソ連邦での外交官としての体験についてお話いただきました。グローバルに活躍される中から見えてきた今後の重要なリソースは、お金・人材・時間であること、特に時間については、使える時間の量とタイミングの判断、タイムフレームを念頭に置いた思考の重要性を強調されていきました。ウクライナ紛争については、アフリカ諸国における紛争との

報道量の違いが指摘され、日本などと
同水準の生活をしている国で、今も同
年代の若者が国を守るために戦ってい
る現実があること、ロシアが一方的に
侵攻したことについては、国の立場に
よって受け止め方が違い、国連安保理
などで世界が一枚岩として対応してい
くことは至難の業を越えている、など
のお話があり、学生達は国際政治のダ
イナミズムをリアルに感じたようでした。

2. 先生方の学外での活躍

日本経済新聞等にコメントを寄せた
中川淳司社会システム研究所長・現代
教養学部教授をはじめとして、NHK
の番組「ファミリヒストリー」に出
演し、解説をした黒川知文現代教養学
部教授、福島中央テレビのニュースに
テレビ出演（インタビュー取材）した
川久保文紀法学部教授、トルストイ著
「戦争と平和」を翻訳し朝日新聞に紹
介された望月哲男現代教養学部特任教
授、東京新聞や週刊誌AGEAにコメント
を寄せた皆川満寿美現代教養学部准教
授、日本経済新聞等複数の新聞にコメ
ントを寄せた上池あつ子准教授、日本
テレビの番組「世界まる見え！テレビ
特捜部」にて、「ゴーストワーカー」に
関するVTRの監修をされた小林和馬
商学部講師等、先生方の学外での活躍
が多く見られました。

◆クラブ活動

1. 駅伝部

10月15日に立川自衛隊駐屯地へ昭
和記念公園で開催された「第99回東
京箱根間往復大学駅伝競走予選会（箱
根駅伝）」において12位（10時間5
1分25秒）となり新年1月2日・3日
に開催される「第99回箱根駅伝」へ
の出場権獲得はなりませんでした。

ただ、「秩父宮賜杯第54回全日本大
学駅伝対校選手権大会（全日本大学駅
伝）」については、6月19日に行われ
た「予選会」で総合6位となり、11
月6日に開催された本戦に10年連続
16回目となる出場を果たしました。
結果は出場27チーム中13位（5時
間17分56秒）でしたが、一時はシ
ード権を獲得できる位置につける等、
次につながる走りを見せました。

また、福岡国際マラソンで日本人1
位となり第19回アジア大会開催（開催
延期）のマラソン日本代表選手に選ば
れた、平成30年3月に本学を卒業した
細谷恭平選手を筆頭に、1月1日に開
催された「全日本実業団対抗駅伝競走
大会（ニューイヤースタート）」に複数
の選手が出場するなど、卒業生の活躍が
多く見られました。

2. 硬式野球部

千葉県大学野球リーグ戦において、
春季・秋季とも2位となり、秋季では
昨年に続き「関東地区大学野球選手権
大会（関東大会）」に出場しました。昨
年はこの大会で優勝し、その勢いのま

まに「明治神宮外苑創建九十五年記念
第52回明治神宮野球大会（明治神宮大
会）」で優勝し初の全国制覇を成し遂げ
ましたが、今年度は関東大会ベスト4
の成績でした。

また、プロ野球ドラフト会議で橋本
星哉選手（捕手）が東京ヤクルトスワ
ローズから育成1位指名を受け、入団
することになりました。まずは支配下
登録を目指すことになりましたので、応
援をどうぞよろしくお願いいたします。



橋本星哉選手（捕手）

3. サッカー部

男子は千葉県大学サッカーリーグで
優勝し、令和5年度から上位リーグで
ある関東大学サッカーリーグ3部に参
入することとなりました。

また、阿部諒弥選手（ゴールキーパ
ー）がJリーグ清水エスパルスへの加
入が内定し、193cmの長身を生か
した活躍が期待されます。応援をど
うぞよろしくお願いいたします。



阿部諒弥選手（ゴールキーパー）

4. その他のクラブ

軟式野球部が「関東新大学軟式野球
連盟春季リーグ」で優勝し、全国大会
である「全日本大学軟式野球選抜大会
SUMMER CUP 2022 in Nagano」出場を
果たしました。

また、ゴルフ部（男子）が関東大学
春季Aブロック対抗戦で5位となり、
全国大会である「第59回全国大学ゴル
フ対抗戦」に出場し、5位となりまし
た。

その他、バレーボール部・吹奏楽団・チアリーディング部のような指定強化クラブは無論のこと、バード部や軽音楽部のような一般クラブも大会出場や大学祭等で演奏をするなど、制限のある中、徐々にではありますが活動を活発化しております。

引き続き大学各クラブへのご声援をいただきました。宜しくお願いいたします。

令和5年の合同新春懇親会

新型コロナウイルス感染予防のため中止です。

コロナウィルスの終息致しましたら、120年の祝賀会を兼ねて行いたいと考えます。

校友会のついで

令和3年12月8日

名誉会長に1年間の報告をし、ミニの納会を会費制でいたしました。寺嶋名誉会長・佐藤会長・谷本副会長・中島常務理事・梅津会計理事の5名です。

令和4年12月14日

同一場所です。同一メンバーにより執り行いました。



ミニ納会 浦安 丸よし 令和 3.12.08

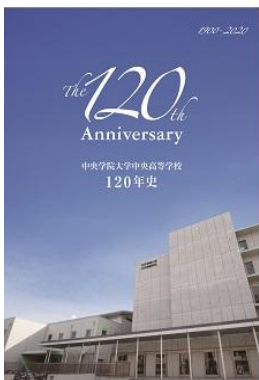
☆同期会補助金

今年度は利用無しでしたが、卒業生の皆様には、同期の会合を開く場合に校友会から補助金が出ますのでご連絡下さい。

「中央高校の教育整備費に係るご支援のお願い」

令和2年（2020）に創立120年を迎えた、さらなる充実した教育環境実現を図ると共に運動系・文化系クラブの活動を継続的にサポートし教育強化を進めて行くことを目的として始められました。日本の経済状況が先の見えな厳しいところがありますが、母校発展のために協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ご賛同の方は、あらかじめ学校に連絡頂ければ振込用紙を本人宛に郵送いたしますので活用ください。



創立120周年記念誌を校友会ホームページに掲載（120年史電子ブック）してありますのでご覧ください。

中央学院大学中央高等学校のホームページより校友会をお探し下さい又は左記へ

eguch-alumni.org

「校友会費の説明並びに納入のお願い」

校友会費については、昭和五十八年十月二十日で会則が改定され、現在は次のようになっております。

年会費 三、〇〇〇円

特別会費 二〇、〇〇〇円

昭和五十年十月の改定で終身会費二〇、〇〇〇円を決定いたしました。以降これを特別会費とさせていただきます。勿論過去において終身会費として二万円を納入して下さった方は、そのまま終身会員の取扱いをさせていただきますのは当然であります。が、諸事高騰の折柄お願いとして年会費も御払込願えれば幸いです。

今後は年会費で通常経費をまかなない、特別会費分は基金として積立て、将来学校のお役に立てたいと考えています。

現在会費の未納が多く、基本財産を取り崩している状態です。

どうか皆様

基本財産として特別会費

一金 二万円

亦是運営費として年会費

一金 参千円

を左記宛に納入下さいますようお願い致します。

尚、同封の郵便振込票（振込手数料無し）でお振込み下さる場合は、通信欄にコード番号をご記入下さい。

郵便局

東京 〇〇一三〇一五一一一九

三井住友銀行 日本橋東支店

〇三四一七二五〇〇六九

宛名 中央学院校友会

本部住所 〒一三六〇〇七一

江東区亀戸七六五二二

TEL 〇三―五八三六―七〇二〇